

## 身体障害者更生相談における座位保持装置利用者の移乗方法の実態

1	研究対象者
	令和3年4月から令和5年3月までの間に身体障害者更生相談所における座位保持装置の給付について来所相談された方を対象とします。
2	研究責任者
	埼玉県総合リハビリテーションセンター 理学療法科 主任 笠井 健治
3	研究の目的
	<p>座位保持装置利用者の多くは体幹や下肢機能に重度の障害を有し、移乗動作において介助を要します。しかし、座位保持装置を利用する方の移乗方法の実態について調査報告した研究は少なく実態はよくわかりません。本研究の目的は座位保持装置利用者の移乗方法を明らかにすることです。</p> <p>本研究は過去に身体障害者更生相談を利用した方を対象にする後方視的研究です。介入研究は行わず、個人の症例報告も行いません。</p>
4	利用する診療情報
	身体障害者更生相談資料より令和3年4月から令和5年3月までに座位保持装置に関して来所相談を行った方の年齢、病歴、身長、体重、移乗方法、座位保持装置の種類などの情報を収集し集計する。
5	研究期間
	令和5年5月23日から令和6年3月31日
6	個人情報の取り扱い
	<p>本研究で収集される情報は、解析する前に個人が特定されないよう個人情報を削り符号化したうえで外部ネットワークから遮断された院内電子カルテ内のみで管理いたします。</p> <p>データにはパスワードをかけ保管管理し、院外への持ち出しは行いません。得られたデータは研究終了後5年を経過したのちに破棄します。</p>
7	お問合せ先
	<p>本研究にご自身の情報を使用されることにご了解いただけない場合や途中で研究対象から除外の希望がある場合は、お申し出ください。ご協力いただけない場合でも不利益が生じることはありません。</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら、下記連絡先までお問い合わせください。</p> <p><b>【お問合せ先】</b> 埼玉県総合リハビリテーションセンター 理学療法科 主任 笠井 健治 電話：048-781-2222（代表）</p>